



ありがとう田子小 私たちは忘れない

3月19日 田子小学校閉校式

施政方針・大綱質疑

2~4

3月定例会・臨時会

6~9

一般質問

12~17

議会の動き

18~21

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでもご覧いただけます。



あなたの声が届く町政へ

令和6年度

西伊豆町長

施政方針 (抜粋)

町政運営

町政運営の基本的な考え方としては「あなたの声が届く町政へ」「誰もが住み続けられる町づくり」の考えに加え、「子育て応援」に力を入れ、引き続き町民の声を大切に、持続可能な地域づくり・地域循環共生圏という視点を持って、行政運営を行ってまいりたいと存じます。

防災・災害対策

自助・共助・公助と言われておりますが、しっかりとした公助の体制を取りつつ、自助についての助成や共助の取り組みの支援を行いたいと思います。

避難施設については旧消防署の跡地に建設中の複合施設を確実に完成させるとともに、築地地区の施設を7年度に事業が着工できるように進めていきます。

家具の固定補助事業が進んでいません。今まで以上にシルバー人材センターや事業所に積極的に働きかけ、介護事業者さんも巻き込み、少なくとも寝室の家具固定が、浸透するように事業を進めていきます。

そして、新たに給水車を配

備します。避難計画は自治会に出前講座を行い避難計画の認識を持っていただきます。

健康増進事業

健康に関しては、高齢者、若者も含め町民の皆様が自分の健康を見つめ直すきっかけを作りたいと考え、新たに「まるけん」という健康アプリを導入します。その日の運動量などにより、最大月500ユービが付与されるものです。

スマートフォンをお持ちでない方には、デジタルデバイス解消に向けての取り組みも併せて行いたいと思います。

子育て支援

現在の出産祝いを、出産・成長祝い金に変更し、第1子5万円、第2子10万円、第3子以降15万円とし、成長段階に合わせ、3才6才12才の節目に3万円を給付します。また、事業所の授乳やおむつ替えがしやすい取り組みにも応援をしていきます。

奨学金返済支援

就学にあたって借入を行っている者の返済を支援し、移住と学びの支援をします。幅広く返還支援に対応します。

メディア戦略

西伊豆町の知名度向上と魅力発信のため引き続き事業の展開を行いたいと思います。事業を民間業者へ委託します。

観光誘客インバウンド事業

静岡県の行っているインバウンド補助に上乘せし、海外からも西伊豆町に来やすい状況を作りたいと思います。国内旅行の団体バスへの支援を引き続き行うとともに、「夕映えの花火」など誘客に有効な事業を支援していきます。

斎場建設

5年度に基本計画書ができ上がりましたので、松崎町との組合設立に向け事務のすり合わせを行うとともに、早期完成に向け事業を進めていきます。

スポーツのまちづくり

プロスポーツと協定を結び、静岡県のICOIプロジェクト事業採択を受けて行っていた「温泉を利用した合宿誘致」を引き続き行います。

商工振興

改修リフォーム補助は、2巡目の改修にも補助を行います。グルメスクラッチ事業も支援していきたいと思えます。サンセットコインは、4月以降は5%の還元率で事業を継続します。

ゴミの減量化

広域ごみ処理施設は、事業が着実に進んでいます。町では、ゴミの排出量を減らすことに取り組みます。分別ごみの収集を今年度はモデル地区

を設定し、常時回収できる仕組みを作れないか検討したいと思います。

農業

耕作放棄地が増えています。乗用草刈機を購入し貸与をして対応を図っていきたいと思います。

林業

森林整備については、町有林施業面積については27ha、民有林整備に対する補助として50haを予定しております。

木材をチップ化し地産地消ができる施設づくりに取り組んでいきたいと思っています。

漁業

育てる漁業が必要であると思います。5年度までいろいろ模索してきましたが海藻の養殖は良い結果が得られ、6年度からは陸上での事業を展開する運びとなりました。行政としては側面支援に移行します。

磯焼けの解消は、ウニの駆除などを行い引き続き取り組みます。

カーフェリー誘致

就航率の改善を図るため、田子港の利用をしたいと申し出があり、関係の皆様と協議しています。田子港利用が決定した際は停泊料を町が支払って対応したいと思います。

黄金崎公園整備

芝生広場のトイレの改修、道路の舗装工事などを行い、快適で安全に散策できるよう事業を展開します。

認定こども園

5年度にワークショップを行っていただきました。その後整備委員会で場所の選定を行っています。まだ結論は出ていませんが、早急に解決しなければならぬ問題と考えています。

小学校

6年度から賀茂小学校と田子小学校が統合し、賀茂小学校として運営していきます。仁科小学校と賀茂小学校の特別教室にエアコン整備を行い、仁科小学校体育館照明をLED化します。

中学校

特別教室にエアコン整備を行います。トイレの乾式・洋式化は、6年度に体育館トイレの設計を行い、7年度以降

は、順次設計・施工を行います。

国際交流事業

台湾との中学生交流を再開します。台湾南部の高雄市と^{へいとうけん}屏東県を予定しております。西伊豆町の子供たちもいい刺激を受けてくれるものと期待をしております。

英語教育

引き続き人材確保に努めるとともに子供たちがネイティブの英語に触れる機会の創出に取り組みます。

地区要望

作業員5名体制で引き続き行っていきます。

白川線の予防伐採と道路路肩の改良設計、仁科浜築地線の段差・水路改修を行います。田子月の浦井田子線は、地区住民への説明を行い最終的な合意をいただいた後、6年度中に支障となる電柱移転を先行して行っていきます。



施政方針を述べる町長

大 綱 質 疑

認定こども園

質問 諮問にかける前に町長は、考え方を伝える必要があると思うが。

町長 ワークショップでは、一切口を出さないで進めています。最終的には子供たちの安全を願って私は、津波浸水想定区域から外れるのではないかと思います。

質問 今後の取り組みでもっと強い意志を持ってもらいたい。

町長 場所の選定では、当局は口を出すのはやめようと思います。

子育て応援

質問 第3子については、金額をもっと上げる必要があると思うが。

町長 今後検討することとしますが、今のところ精一杯だと思います。

カーフェリー

質問 田子港は荒天時だけの利用では効果がないため、少なくとも週1便、もしくは1日1便の定期便を考えないか。

町長 今のところ、荒天時の避難港的な扱いの取り決めがされたところですが、状況を注視しながら今後の要望などを検討していきます。

斎場整備

質問 斎場建設は、6年度にどの程度進めていくか。

町長 9年に完成させるために、6年度中に何らかの組合を作り確実に進めていきます。

まるけん事業

質問 「まるけん」事業は、どこの先進事例を参考にしているのか。

町長 四国の日高村を参考にしました。

質問 スマートフォンにアプリを入れなければならないが、使い方をさらに指導する必要があるのではないか。

町長 今後とも必要だと思えます。併せて静岡県防災アプリやサンセットコインのアプリを入れてもらうことで、ある程度の情報をスマホで手に入れることができます。

防 災

質問 今後の事業として家具固定、火災報知器、感震ブレーカーと3点セットで進めて行かないか。

町長 今後検討したいと思えます。感震ブレーカーは、議論のそ上に上がっています。

ふるさと納税

質問 今年度8億5000万円の見込みだが、6年度10億円の見込みで大丈夫か。

町長 目標設定ですので、全く問題ありません。

インバウンド

質問 インバウンドの取り組みはどうなっているのか。

町長 全ての国から誘客するのは困難です。私は台湾が誘客しやすいのではないかと思います。

その意味から子供たちの台湾との交流で西伊豆町の宣伝ができればと考えます。



田子港に来るのかな？

新年度予算5.5%増（一般会計）

収入（歳入）

給料 (町税等)	8億0419万8千円
実家からの仕送り (地方交付税等)	26億3450万0千円
兄弟・姉妹からの援助 (国・県補助金)	10億1620万7千円
副収入 (ふるさと納税等)	10億0004万4千円
貯金取り崩し (繰入金)	15億4433万5千円
バイト代 (その他の収入)	2億6781万6千円
借金 (町債)	3億4390万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて作表しました。

収入合計 76億1100万円

支出（歳出）

生活費 (総務費)	8億9894万7千円
年金・保険料等 (民生費)	11億4118万4千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	6億6870万8千円
農薬代・養魚飼育餌代 (農林水産業費)	3億3074万0千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	10億3702万1千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	5億4805万9千円
消火器購入 (消防費)	7億3696万2千円
学費仕送り (教育費)	6億0384万7千円
ローン返済 (公債費)	5億0905万1千円
区・町内会費 (議会費)	6248万5千円
貯金 (諸支出金)	10億6699万6千円
へそくり (予備費)	700万0千円

支出合計 76億1100万円

（特別会計）

会計名	歳入歳出総額	前年度対比	増減(%)
国民健康保険特別会計	12億2200万0千円	△3500万0千円	△2.8
後期高齢者医療特別会計	3億3900万0千円	3390万0千円	11.1
介護保険事業特別会計	13億1770万0千円	2570万0千円	2.0
サンセットコイン事業特別会計	16億3100万0千円	6億5600万0千円	67.3
水道事業会計	5億6537万9千円	2億9509万4千円	109.2
温泉事業会計	1億3869万8千円	△187万5千円	△1.3

※水道事業会計及び温泉事業会計は、収益的収入と資本的支出の合計額です。

斎場整備事業基本設計業

開催期間	3月5日から3月15日まで
審議した案件	町長提出議案 29件 承認 1件 発議 1件
可決した議案	令和6年度一般会計予算 ほか6つの特別会計予算 一般会計補正予算（第10号）ほか4つの特別会計補正予算 条例改正等 14件 条例改正の専決処分 1件 新町建設計画の変更 町道路線廃止認定 2件 発議 1件

こんなことが、決まりました。

一般会計予算

（全員賛成）

6年度予算総額は76億1100万円となり前年度比3億9700万円の増額です。主なものは、低所得者支援・定額減税補足給付費の計上や水門陸こうなどの維持管理工事、黄金崎柴線改良工事、橋梁長寿命化対策工事などの建設事業費の増額、斎場整備事業基本設計業務委託などです。

歳入は、自主財源が前年度比2億3133万5千円の増で36億1639万3千円。依存財源が39億9460万7千円です。

固定資産税の評価替えて町税の減収が見込まれますが、新たな地方債借入より償還が終了した額の方が多かった

め、公債費は減額となりました。また、観光地域づくり整備事業などにより県から交付されるものが増えています。

ふるさと応援寄付金

10億円

問 ふるさと納税はもっと増やしていただきたいが。

答 総務省から返礼品は3割、経費は5割程度という改正が告示になり、それに則っています。地元業者さんと連携を図り、できる限り選んでもらえるように努力します。

定住促進奨学金返還支援金

446万4千円

問 何人くらい対応できるか。

答 医学部2名、その他学生6名の計8名で計上しました。

これで不足するようであれば補正予算で対応します。

林業6次産業化推進事業

1400万円

問 具体的な内容は。

答 これまで3年間かけて検討をしてきましたが、今後は地域商社を設立して、木質バイオマス発電所の建設を進めていく予定です。

6年度はバイオマス発電施設の設計業務委託が主になります。

带状疱疹予防接種費助成金

72万円

問 拡充の予定は。

答 高額となる不活化ワクチン接種には4000円の2回分を助成します。

事務委託へ

◎斎場整備事業基本設計業務委託	1815万円
◎斎場整備事業支援業務委託	500万円
◎松崎町との一部事務組合設立に向けての準備	338万8千円

国民健康保険特別会計予算 (全員賛成)

6年2月1日現在の国民健康保険加入者数は1912人です。予算総額は12億2200万円で、前年度と比べ3500万円の減額です。減額の理由は被保険者153人の減少に伴い療養諸費や事業費納付金が減額したことによります。

問 被保険者数が減少しているが、保険税が85万円増なのはなぜか。

答 新型コロナウイルス感染症が落ちついて回復基調です。所得が上がると住民税も上がりますので、国民健康保険税の金額も上がることとなります。

後期高齢者医療特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は3億3900万円で、前年度と比べて3390万円の増額です。令和6年2月1日現在の加入者数は2211人で、前年同時期と比べ42人の増となっています。

問 保険料が上がっているのは、県の指示によるものか。

答 静岡県統一です。町独自の保険料ではありません。

介護保険事業特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は13億1770万円で前年度と比べて2570万円の増額です。

保険料標準月額が6500円から5400円に変更となったことと第1号被保険者数の減少により減額となりました。介護認定者数は、要支援1・2が80人、要介護1～5が491人、合計で571人です。

問 特養に入所する順番は。

答 町内の施設では町民が優先になります。介護度や置かれている状況、緊急性などによっても順番が変わります。

サンセットコイン事業 特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は16億3100万で、チャージ料は14億6691万円を見込んでいます。6年度は通年で5%還元となります。

問 一般管理費増の理由は。

答 6年度からクレジットカードやセブン銀行でのチャージが可能となります。その手数料がかかるためです。

水道事業会計予算 (全員賛成)

収益的収支(経営に伴う収支)は、収入が2億4283万9千円、支出は2億374万7千円です。資本的収支(施設整備に伴う収支)は、収入が2000万2千円、支出が3億2254万円です。不足額は内部留保資金や積立金で補填します。

問 先川浄水場浄水池改修工事は、期間中の断水を懸念するがどうするのか。

答 新たな浄水池は現在ある着水池と浄水池の間に新築し、既設の水道施設は工事期間中も使用を続けるため、断水の心配はありません。

温泉事業会計予算 (全員賛成)

収益的収支は、収入が9868万7千円、支出は8464万9千円です。資本的収支は、収入は2千円、支出は、4001万1千円で、不足額は内部留保金などで補填します。

問 温泉管布設替工事はどのくらいの距離が残っているのか。

答 布設替えを計画している石綿管は約2kmで残り約1.6kmとなっています。

6年度から8年度の介護保険料基準 月額6500円から5400円に

町道路線の認定について (全員賛成)

国道大田子バイパス入口から旧テニスコート入口までの連絡道路を、「赤羽山線」として町道認定するものです。

問 町道でなかった理由は。

答 クリーンセンターと合わせ地方債で開設しましたので償還期間中は町道認定できませんでした。

給食センター条例の一部を改正する条例について (全員賛成)

6年4月1日から田子と賀茂の給食センターを統合するものです。

介護保険条例の一部を改正する条例について (全員賛成)

第9期介護保険事業計画の策定に伴い、6年度から8年度の1号被保険者の段階別保険料を改めるものです。

標準9段階を13段階とし、基準月額を、現行6500円から5400円に改めます。

問 判断するために事前に計画書を配布して欲しいが。

答 次回の時は用意させてい

たきます。

問 この金額になる根拠は。

答 保有基金が多いのと適正な保険利用の結果です。

消防団条例の一部を改正する条例について (全員賛成)

出勤訓練報酬の、4時間以下は2500円を2000円に、4時間を超える訓練は5000円を4000円に改正するものです。

報酬単価は減額しますが、水出し機器点検が報酬の支給対象になります。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

地方自治法の一部改正により、6年度からフルタイム及びパートタイムの会計年度任用職員にも勤勉手当を支給するものです。

問 どのくらいの費用増か。

答 年間およそ2270万円です。

一般会計補正予算 (第10号)について (全員賛成)

事業完了に伴う精算などに

より、歳入歳出総額からそれぞれ4億9453万1千円を減額するものです。

歳入の主なものは、地方交付税4242万5千円の増、衛生費国庫負担金2000万円の減、ふるさと応援基金1億5000万円の減、ふるさと応援基金繰入金1億6376万4千円の減です。

歳出の主なものは、電気料で2943万4千円の減、鷹ノ巣残土処理場管理運営委託契約の精算に伴う補償料が1093万4千円、ふるさと納税寄付額の方修正により積立金1億5000万円の減、特産品費4500万円の減、津波避難タワー等整備工事の5年度執行分で2160万円の減などです。

問 債務負担行為のスクールバス運行業務委託料が6000万円から3600万円に大きく減額になった経緯は。

答 3社から見積もり徴収をした結果、3年間3164万400円で落札されました。

問 鷹ノ巣残土処理場契約変更に伴う補償金が、当初予算4000万円と大きく乖離しているのはなぜか。

答 残土処理量が増えたこと、年度ごとの設計単価で再計算したこと、重機を処分したことなどにより、収入が増え支出が減りました。

問 地方交付税の増額理由は。
答 地方交付税は基準財政収入額から基準財政需要額を引いた不足分ですが、今回

需要額算定の中に、臨時財政対策費と臨時財政対策債償還基準費が新たに創設されたことで需要額が膨らみ、

不足分が増えたので、その分が増額となりました。

第1回臨時会 令和6年1月29日

課等設置条例の一部を改正する条例案について (賛成8：反対1)

6年4月1日から、まちづくり課をまちづくり戦略課と産業振興課の2課にします。

まちづくり戦略課は現行の企画調整係とまちづくり戦略系の業務、産業振興課は現行の観光商工係とふるさと納税系の業務及び現在の産業建設課の事務分掌である農林水産係に関連する業務を行います。

産業建設課は課名を建設課に変更し、現行の建設係と地籍調査系の業務を行います。

全体の課局数は11から12に変更となります。

主な質疑は次の通りです。

問 来年度も予算規模が大きく、農林水産係と建設係が連携しなければうまくいかない事業があるので切り離すのはいかがか。

答 二つに分けると連携が取れないということではなく、事業量も多くなっているので連携して業務を行っ

ていきます。

問 まちづくり戦略系の担当業務は何か。

答 森と海の6次産業化のように、課や係が横断的に行なわなければならない事業を中心に進めています。

反対討論 連携して行う事業が目前にあり、このタイミングでの機構改革は反対。

一般会計補正予算(第9号) 原案 (賛成7：反対2)

歳入歳出にそれぞれ3182万5千円を追加し、予算総額は81億2653万1千円です。

歳入は、財政調整基金からの繰入金3160万5千円と国庫補助金22万円です。

歳出の主なものは、町内の宿泊施設継続支援貸付金2000万円と運営出資金1000万円、小学校統合でスクールバス運行にあたりバス停設置の標識柱47万5千円などです。

主な質疑は次の通りです。

問 「西伊豆町観光施設継続支援貸付金要綱」では担保は徴求することが原則だがしないのはどんな場合か。

答 基本的には徴求します。

問 出資した金融機関とその総額は。

答 個人情報に関わり答えられません。

問 出資は何年くらいか。

答 経営が安定し、持続の必要が無くなれば手放します。

問 出資が6分の1では決定権がなく、町の意向が反映されないのではないか。

答 株主間契約を結び常に情報把握できる状況にします。

一般会計補正予算(第9号) 修正案 (賛成2：反対7)

【修正内容】

宿泊施設継続支援貸付金と運営出資金の合計3000万円を減額し182万5千円とする。

【提案理由】

行政の支援は助成や使用料の減免などに限定して行うべきで、融資まで踏み込むべきでない。融資基準の議論も不十分であり減額修正する。

原案に賛成討論 西伊豆町の観光にとって堂ヶ島エリアは、外国資本などでの不適切使用から絶対死守すべきで、1企業の救済でなく町の観光業維持のために支出すべきと考え原案に賛成。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤 豊	芹澤 孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤 和夫	増山 勇	議決結果
第1回臨時会	課等設置条例の一部を改正 [課の追加及び課名を変更するもの]	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第9号)修正動議 [観光施設継続支援貸付金関係予算を削除するもの]	○	○	×	—	×	×	×	×	×	×	否決
	一般会計補正予算(第9号) [3182万5千円を増額するもの]	×	×	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
3月定例会	専決処分の承認(手数料徴収条例の一部を改正) [戸籍関係の発行手数料を改正するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	承認
	新町建設計画の変更 [人口世帯数等の見直しと橋梁長寿命化対策事業を追加するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	町道路線の廃止 [町道1路線を廃止するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	町道路線の認定 [新たに町道1路線を認定するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	監査委員に関する条例の一部を改正 [上位法令改正により引用箇所を改正するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正 [育児休業者の期末手当支給に関するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	町立給食センター条例の一部を改正 [給食センターを統廃合するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決*
	町営運動場条例の一部を改正 [町民運動場の使用料を改定するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正 [中所得者の負担軽減及び低所得者への軽減措置を拡充するもの]	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険条例の一部を改正 [介護保険料を改定するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	漁港管理条例の一部を改正 [上位法令改正により引用箇所などを改正するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正 [企業会計年度任用職員に勤勉手当を支給するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業給水条例の一部を改正 [上位法令改正により引用箇所を改正するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤豊	芹澤孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤和夫	増山勇	議決結果
3 月 定 例 会	水道事業の設置等に関する条例の一部を改正 [上位法令改正により引用箇所を改正するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	温泉事業の設置等に関する条例の一部を改正 [上位法令改正により引用箇所を改正するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	消防団条例の一部を改正 [水出し機器点検を報酬支給対象とするもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する 条例の一部を改正 [会計年度任用職員へ勤勉手当を支給するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例 の一部を改正 [上位法令改正により引用箇所を改正するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第10号) [4億9453万1千円を減額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) [990万円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号) [4700万円を減額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	サンセットコイン事業特別会計補正予算(第4号) [1億2594万3千円を減額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計補正予算(第2号) [27万6千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度 一般会計予算 [当初予算]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度 国民健康保険特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度 後期高齢者医療特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度 介護保険事業特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度 サンセットコイン事業特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度 水道事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度 温泉事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定 [議員個人と町との請負状況の公表に関する条 例を制定するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	

議長(堤 豊)は採決に加わりません。

※ 給食センター条例の改正は出席議員の3分の2以上の同意が必要な特別多数議決となるため、議長も表決に加わりました。



まつだ たかひろ
松田貴宏 議員

ライドシェアの導入は (町長) 将来的に必要

質問 近年、いわゆる白タクと言われてきたライドシェアについて解禁しようという動きが各地で出てきた。当町においてもライドシェアを導入すべきだと思うが、町の考えは。

町長 将来的にライドシェアを町内で行っていただくということが必要だと考えますが、各種団体から意見要望が国に出されているため、その状況を注視していきたいと考えますし、今現在、国から明確なものが示されていません。

て動けばいいのかなと思うが。

まちづくり課長 県にも確認をしましたが、先ほどの答弁にあったとおり、正式な通知としては来ていません。6年6月に制度の改正が行われるということは聞いています。現状ではこのような情報をつかんでいますが、将来的にライドシェアを町内で行っていくことが必要だと考えていますので、今後も引き続き、情報を仕入れながら進めていきたいと考えています。

説明してもらっても
できるが

お話を聞きながら進めて
いけたら

質問 もし本当にやってみたいのならば、詳しい人に説明してもらってもできるが。

まちづくり課長 あまりにも情報としてつかんでいるものが少な過ぎるので、しっかりと調べてからになるかと思いますが、他の自治体でそうした先進事例があるのであれば、お話を聞きながら今後進めていけたらと考えています。

すでに始まりつつあるが

情報を仕入れながら
進めます

質問 石川県小松市は3月29日スタートと、すでに始まりつつある。おおむね、仕組みはできている。これは、市町村からこういうことをやりたいという話で、国を動かしている。国が出てくるのを待つよりも、町としても、仕組みを作る側とし



新しい「足」の登場で西伊豆もより便利に

生活支援設備取得に助成を

(町長) 検討します



あさかもとき 議員
浅賀元希

質問 階段昇降機導入費、障害者用車両改良費や免許返納者を含めたシニアカー購入費などの生活支援設備取得の助成制度を設けてほしいが。

町長 こちらについては検討します。

質問 介護事業所では、人材確保ができないためICT導入を検討しているところもあるが、県の補助率が低い状況にあるので、県の町長会で県に働きかけはできないか。

町長 申し伝えることはできますが、町に言うのではなく議会側もそういったものは、出されてもよろしいのではなかろうかと考えます。

町長 基本的に閉めて下さいと口酸っぱく言っています。町の方針として突発の地震では閉めることができませんので、閉めることはずっとお願いしていますが、住民の意向として開いていることをご承知ください。

質問 田子小学校は、避難所指定だが、いざという時に、水が必要になる。現在プールには1mくらいしか水が溜まっていないので、十分に張っていただけませんか。

町長 プールは亀裂が入っているので水漏れをおこしています。小学校が閉校する

ので、プールを取り壊し、給水タンク的なものを設置した方が、有効だと考えますが、まだ議論が必要なため、やるやらないは、明確にできません。

質問 田子小学校裏山の土砂災害の対策もできないかとの要望もあるが、いかがか。

町長 裏山につきましては、対策が講じられればいいに越したことはありませんが、そもそもあそこに行くのか考えると、おいそれとできる工事ではないと考えます。

防潮堤陸こう閉鎖は

閉鎖するよう
口酸っぱく言ってます

質問 現在多くの陸こうは、閉鎖されておらず地震発生後、閉めに行く人はいないので、閉鎖に向けて強化をすべきだが。



田子小学校プール



つみ 堤 かず お 和 夫 議員

わが町の水道管の耐震化は

(町長) 基幹管路の耐震化率は 17%

質問 今回の能登半島地震において、水道管の破損が大きく、1ヵ月を過ぎても未だ断水している。わが町の水道管の耐震化は、どの程度進んでいるのか。

町長 基幹管路の耐震化率は17%、送配水管施設については68%です。現計画では、施設の耐震化を進めその後、管路の耐震化をすることとしています。

質問 浮島地区で住民主体で開設する自主避難所の運営方法を学んだそうですが、浮島地区に限らず、孤立の可能性のある地区は、実践したら良いと考えるが。

町長 本来、自主避難所に限らず、避難所は避難者が運営するというのが災害時のセオリーです。

質問 当町での第2次避難所(ホテル)との契約は。

町長 平成24年5月30日に、堂ヶ島温泉旅館組合と、大地震津波などによる災害時避難所施設使用に関する協定書を締結しています。

協力隊の合格基準は

12項目の審査基準

質問 「地域おこし協力隊」の合格基準は。

町長 第1次書類審査、第2次担当者による面談、最終審査は町長以下5名で面接を行い、12項目の審査基準を基に合否を判定しています。

質問 「地域おこし協力隊」の地域とのトラブルは。

町長 うまくいっていない事案があることも承知しておりますが、地域の方も、「地域おこし協力隊」の隊員も、

互いにリスペクトしていただければと考えています。

判定システムの利用は

していません

質問 インターネット依存度判定システムの利用は。

教育長 していません。

質問 ネット依存の指導は。

教育長 依存の有無にかかわらず全ての子どもへの注意喚起が必要であり、すでに各校で行われています。

質問 タブレットの利用は。

教育長 英語ではデジタル教科書を使用しており、順次他の教科へも移行します。



地震の後の水は大丈夫？

介護保険事業計画策定に現場の声を (町長) 委員の構成、任期など検討する



たか 橋 けい じ 議員
高橋 敬治 議員

質問 「第9期介護保険事業計画」を策定中だが、訪問系や通所系在宅サービス、デイサービスなど現場に精通した団体の代表を委員に入れるべきでは。

町長 今回は訪問系の代表を入れましたが委員の構成や任期など今後検討します。

質問 「西伊豆と松崎は一つの圏域なので別々の計画を策定するのは疑問」とのパブリックコメントがあるが。

町長 生活圏は一つでも、計画は広域か2町の合併が必要で、今はどちらでもないのです夫々が策定します。

質問 介護人材確保の取組は。

町長 社協が「お仕事体験事業」など引き続き実施しますし、町は福祉介護分野の「地域おこし協力隊」の募集なども考えています。

質問 住宅、子育て支援策を充実し広くPRすべきでは。

町長 相談窓口に「地域プロジェクトマネージャー」を採用し、移住定住の促進と情報発信をしています。

介護報酬改定の影響は 訪問介護事業に影響ある

質問 介護報酬の改定で「訪問介護サービス」が引下げになるがその影響は。

健康福祉課長 事業収益が下がると事業の継続に影響し、結果、サービスが行き届かなくなる可能性があります。

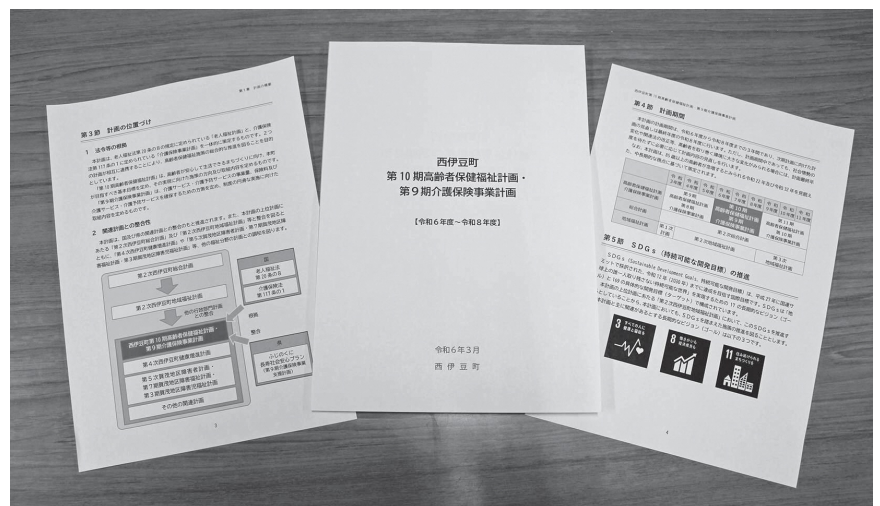
質問 身体的介護はできないが生活援助ができる「訪問型サービスA」の取組みは。

健康福祉課長 「生活応援クラブ」などが適用できないのか検討します。

区に鷹ノ巣延長の説明を 区長の理解を得ている

質問 鷹ノ巣残土処理場の完了は5月末まで延長になるが、一色区に最終形状を図面で説明し、要望を聞いて最終仕上げをすべきでは。

産業建設課長 区長に相談して理解を得て、町内会長に文書で連絡してもらうことになっています。処分量が予定より少ない安全側なので説明は不要と考えます。最終図面は成形が終わらないと描けません。



基本理念は「地域で支え合う健幸で長寿なまち」



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

災害時の給水計画は

(町長) 水源に自家発電機を配備

質問 能登半島地震の発生を受けて当町の防災対策における脆弱な部分を伺う。木造住宅の耐震化は進んでいるのか。

町長 耐震補強は大幅には増加していません。家具固定事業も進めたいと考えます。

質問 高齢化により耐震補強を躊躇していると聞く。耐震シェルターのような部分的耐震化は検討しないのか。

防災課長 家具転倒防止をまず進めますが、今後検討します。

質問 仁科浜周辺には指定避難所がないが。

町長 平時は学校として利用し有事は避難所となる施設整備を計画していましたが、整備できなかつたため、旅館ホテル6施設と協定を結んでいます。

質問 応急仮設住宅建設予定地の検討は進んでいるか。

防災課長 姉妹町も含め災害時応援協定を締結している40の自治体への広域避難を考えています。

質問 災害時の給水計画はどうなっているのか。

町長 各地区水源に1台、大沢里地区は共用で1台の自家発電機を配備しています。

企業課長 導水管と施設の耐震化を急ぐことを検討しています。緊急時には水源から汲み上げて滅菌した水を敷地内に設けた蛇口から給水する方法を検討中です。

質問 孤立化を防ぐには道路網の整備が必要だが、縦貫道につながる路線の整備はどうなっているのか。

町長 各種ある期成同盟会の要望活動に加わり、県に必

要性を訴えています。能登の地震を受けて道路整備が促進される印象はあります。

防災意識の普及は

学校教育と社会教育で

質問 ここに潜む危険を知り正しく備えるという防災意識の普及が必要と考えるが。

町長 学校には県の出前講座、高齢者サロンなどには防災課職員を派遣して防災意識の高揚を図ります。

教育長 各学校の避難所運営マニュアルを使って、自治会との合同訓練を進めたい。



トイレトレーラーを断水の続く公立穴水総合病院に派遣

ホテルでの避難生活計画は

(町長) 運営できれば無くても良いと考えます



せり ざわ たかし
芹 澤 孝 議員

質問 今回の、能登半島地震の報道から避難者の宿泊施設での生活が垣間見えるが全く問題がないとは思われない。ホテルでの避難生活計画はぜひ必要である。平成26年同僚議員がホテルを避難所とする避難生活計画は、整備されているかと質したのに、当時の町長はこれから整備します。防災課長は、ホテルと協議して整備をできるだけ早くやらせていただきたいと思いません、と答えている。災害時避難所施設使用に関するホテルとの協定を結んでから10年以上が経過するが、ホテルでの避難生活計画は作成、整備されたのか。

町長 無くてもホテル避難生活が運営ができるのであれば、無くても良いと考えます。当時必要だと言ったから必ず作らなければならないものではないと考えます。実務として実行できるのであれば、有っても無くても同じだろうと考えます。

仮設住宅の建設用地は 他の市町と協定を結ぶ

質問 被災後の仮設住宅建設用地を確保しておかなければならないが、町内では適切な用地が不足なので、町内民有地借り上げ協定、安全な用地のある他の市町村と用地確保の協定を結んでおくべきではないか。

町長 他の市町村と協定を結ぶことは必要と考えますがどうしても町内で建設という方もいるので、その時々合う対応をしていくこと

になると考えています。7市6町首長会議でも議案として出ていました。今後は協定を結ぶという方向に進んでいくと考えています。

質問 南海トラフL2を被災した場合、町が必要とする仮設住宅は何戸か。現在用地が不足しているが町内に建設可能戸数は何戸か。津波浸水想定区域外での建設可能戸数は何戸か。

防災課長 被災時の仮設住宅必要戸数は424戸、現在の建設可能戸数は153戸、津波浸水想定区域外での建設可能戸数は52戸です。



町内での仮設住宅建設用地不足を懸念

議会の動き

第 1 常任委員会報告

窓口税務課

12月12日に所管事務調査をしました。

支所・出張所

iPad がテレビ電話に

町役場には田子支所と安良里、宇久須の出張所があります。支所・出張所と本庁は iPad(タブレット型コンピュータ)を利用してつながっていて、窓口からテレビ電話で話すこともできます。

情報通信技術を積極的に取り入れて、さらなる便利な窓口になるよう期待します。



支所の窓口も本庁と同じように

コンビニ交付

住民票も印鑑証明書もコンビニで

住民票と印鑑証明書が、コンビニやイオンなどの多機能端末機でとれます。6:30～23:00の間であれば、土日などの役場の窓口が閉まっているときでも発行でき、対応する店舗なら全国どこからでも取得できます。利用者数は年々増えています。

今は、証明書を発行するのに1枚あたり3,000～4,000円ほどかかっています。発行枚数が増えれば、1枚あたりの費用も下がっていきます。

これから、発行できる証明書の種類を増やすことも検討しています。

費用対効果を見ながらになりますが、より使いやすいものになることを期待しています。

町 税

コロナ禍からの回復のきざし

人口減少などで個人住民税を納めなければならない人は減っています。税金の額も昨年度までは新型コロナウイルス感染症の拡大もあり減少していました。今年度は地域経済が回復基調で、町は個人住民税は増えると考えています。

一方、法人住民税は一昨年度は巣ごもり需要やGo Toトラベルなどの、いわゆる新型コロナウイルス特需で増えてましたが、昨年は減少しています。

町の中の経済状況が、町の税収に直結していることを改めて実感しました。

健康福祉課

1月10日に所管事務調査をしました。

がん検診

乳がん検診はどうなる？

いままで賀茂医師会にお願いして乳がん検診を実施してきました。乳がん検診ができる検診車が廃車になり、スタッフなどの検診をする体制も整わなくなりました。

今年度から聖隷沼津健康診断センターに来てもらっています。今年度は年に1回ですが、来年度は2回になるように調整しています。



みんなが検診を受けられるように

保健と介護の一体的実施

フレイル予防がキーワード

後期高齢者医療の保健事業と、町の介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業を一体的に実施します。

医療保険や介護保険がひっ迫し、若い世代からの支援も限界になりました。そのため、後期高齢者の方々の医療費が減るように、健康でいてもらうための制度です。

フレイルは心身や社会性のダメージを受けた時の回復力が下がった状態です。これが進行すると要介護になったり慢性疾患が重症化します。それを防ぐため、みんなに知ってもらったりボランティアを養成したりします。

皆保険制度を守るためにも、防げるものを防ぐのは大事なことで考えます。

教育委員会事務局

2月20日に所管事務調査をしました。

ワークショップ

こども園に6カ所を提案

認定こども園の移転先を考えるワークショップは、候補地として6カ所を教育委員会に提案しました。町ではこれを受けて、文教施設等整備委員会に諮問をしています。

賀茂小学校・田子小学校 統合

賀茂小学校をずっと使うの？

賀茂小学校の校舎は、長寿命化対策が必要になります。これからは照明のLED化や空調の改修、トイレの乾式化も出てきます。

教職員の確保やバス通学への懸念など、宇久須地区にこのままずっと学校を置き続けるのは難しいところもあります。

当面存続する賀茂小学校はお金をかけて整備する必要がありますが、時期は未定ながら移転する可能性があり、どこまで改修するか判断の難しいところです。



バス通学は大変だけど、がんばって

不登校

社会的自立ができるように

これまで不登校は問題行動としてとらえられてきました。今は、子供たちの社会的自立を1番の目的とし、学校に復帰することを必ずしも最終目標としません。義務教育期間中に学校に戻れなくても、高校への進学などを支援します。

学校に通えない児童生徒を対象に適応指導教室を開設しています。また、心理や福祉の専門家の方々が保護者や児童生徒の相談に乗っています。

少人数の良い面と良くない面があると思います。良い面を生かして、子供たちの育つ環境を整えていく必要があると思います。

第1常任委員長 松田 貴宏

第 2 常 任 委 員 会 報 告

産業建設課

2月9日に所管事務調査をしました。

地区要望の対応状況

要望件数	97件
処理済件数	41件 (42.3%)
処理中	11件 (11.3%)
他部署対応件数 ※	12件 (12.4%)
実施困難経過観察件数	5件 (5.1%)
未処理件数	28件 (28.9%)

5年度の処理済、処理中の進捗割合は、53.6%で前年と同等の進捗状況です。
※他部署対応とは、土木事務所など外部機関で対応していただいたものです。

はんばた市場の運営状況

4年度決算では、600万円ほどの黒字となったが、5年度は10月以降、漁業者の都合による仕入量の減少や観光客などの来場者数の低迷により、収支トントンの見込みとなっています。

林業活性化のための地域商社

事業は、町と企業の共同出資により切り出した木材を燃料とした木質バイオマス発電を実施し、CO₂の削減を図ることや雇用の創出を図る他、循環型社会の構築を目指すものです。

施設としては、チップ製造機・チップ乾燥機・バイオマス発電機などです。

また事業費は、3億519万1千円を計上予定で、その内県から1/2の補助を見込んでいます。

工事が必要な橋梁

- ・ 汁谷橋（田子地区）
橋梁健全性判定 III(早期に措置を講ずべき)
- ・ 宇久須橋（宇久須地区）
橋梁健全性判定 IV(緊急措置が必要な段階)

防 災 課

2月9日に所管事務調査をしました。

今年度就任した地域防災マネージャーを含め、職員から課の体制と業務内容の説明を受けました。

津波避難タワー

- ・ 津波避難タワーの整備は、西伊豆町津波避難計画、津波避難対策緊急事業計画に基づき施設整備を行っています。
- ・ 計画にある仁科地区4箇所、安良里地区1箇所、宇久須地区1箇所のうち、未完成は仁科地区の2箇所だけとなり、1箇所は建設中です。
- ・ 避難スペースは、最低でも人が座ることができるよう1㎡当たり2人を基準としています。
- ・ 備蓄品は、各避難タワーに緊急トイレ関係一式、ラジオ、サバイバルシート、保存水などを設置しています。

現場視察

説明を受けた後、役場横に建設中の仁科浜地区津波等避難施設を視察しました。引き続き町内で最初に建設された、仁科浜地区の避難タワーと新しく建設された、沢田地区の避難タワーに上り、新旧施設の違いや改善点などの検証を行いました。



建設中の仁科浜地区津波等避難施設
第2常任委員長 浅賀 元希

常任委員会視察研修

第1常任委員会は、1月11日から12日まで三重県桑名市と四日市市へ行きました。

コラボ・ラボ桑名

桑名市は20年ほど前から積極的に公民連携を進め、市の財政を改善しました。

「コラボ・ラボ桑名」はその中で生まれた民間から行政への提案窓口です。これにより、行政と事業者が対話しやすくなりました。また「コラボ・ラボ桑名」と担当部署との情報共有や調整により市役所の中の横の連携も作り出しています。

桑名市では仕組みを作るだけでなく、それを支える職員を育てていました。そこを当町でも取り入れられればと考えます。

楠歴史民俗資料館 三重郷土資料館

四日市市には市立の大きな博物館がありますが、それとは別に小さな資料館がいくつかあります。そのうちの二つを視察しました。それぞれに守る人がいて、集まる人がいるのが印象的でした。建物ではなく人が大切なのだと、桑名に続きこちらでも感じました。



展示品を良く知る担当の方からお話を聞きました

第1常任委員長 松田 貴宏

第2常任委員会は、2月1日から2日まで千葉県南房総市に行きました。

シラハマ校舎

千葉県最南端にある白浜町の幼稚園、小学校の木造校舎を民間企業が貸出オフィス、宿泊棟、レストラン施設としてよみがえらせました。

また校庭は、18棟の「無印良品の小屋」を建設し、個人などへ販売を行い購入者は、別荘として活用しており、現在は完売となっています。

市では、廃校を活用してもらうために公募により運営企業を決定し、運営企業からは月額20万円の家賃をもらうだけで、経営に関し口出しはしないとのことでした。

道の駅^{みよしむらひな さと}三芳村部の里

南房総市は、12,400haが森林となっており、伐採した木材を燃料として活用することにより化石燃料やCO₂の削減と森林の適正な管理に取り組んでいます。

事業内容は伐採した木材を薪にし、その薪を燃料とした暖房機を農業ハウスに導入したほか、道の駅では、薪燃料のボイラーを設置し、足湯やレストランの厨房に給湯しているものです。



薪暖房機効果の説明を受けました

第2常任委員長 浅賀 元希

議会ってどんなところ？

3月定例会は特別！

みなさん、こんにちは。今号では3月定例会をご紹介します。

議会には定期的にかれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会とがあり、町長が招集します。会期を定め、その期間中に本会議や委員会を開いて議案の審査を行います。定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開くことになっています。

3月定例会は特別です。次年度の当初予算を主に審議します。これが決まらないと町は何もできません。住民の皆さんに直接影響を及ぼすこととなりますので、議員は全身全霊をこめて審議します。300ページに及ぶ予算書にあらかじめ目を通し、過年度予算とも比較しながら調査し、予算審査会に臨みます。



連合審査会は何をやるの？

第一と第二常任委員会（議会だより75号でご説明済み）が関連する一般会計予算は共同で審査します。その後、一般会計予算は第一常任委員会が採決し、本会議で報告します。

委員会審査は何をやるの？

各特別会計は2つの委員会に付託（任せる）されます。ここからは連合ではなく専門的に関わっている少人数の議員で審査をしていきます。

いずれも、9時半から休憩をはさみつつ午後5時まで、担当課長が予算書を読み上げ→質疑→討論→採決をひたすら繰り返します。

町民にとって適切か、割り当ては妥当か、公平か、合法か。更には、取りこぼしはないか、見通しは甘くないか、無駄遣いはないか、審議を尽くします。今定例会では丸々6日間を要しました。体力勝負です。

サンセットコインの10%、5%還元は嬉しいですが、垂れ流しも不安ですし、補助金があるからと言って不要不急の出費も要チェックですね。

基本は全住民の福祉、持続可能な町の運営に資するかどうか、よくよくの勉強と考察が議員に求められています。



令和6年4月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、気軽にお聞かせください。TEL：52-1962